

後期高齢者医療制度のお知らせ

－ 制度の見直しについて －

●均等割の軽減割合の見直し

保険料のうち均等割の軽減割合が次のとおり改定されます。なお、均等割の軽減は、被保険者と世帯主の所得の合計で判定します。また、被保険者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。

【令和2年度】

| 所得が次の金額以下の世帯 | 軽減割合 |
|--|---------|
| 33万円かつ被保険者全員が所得0円 年金収入のみの場合は受給額80万円以下 | 7割軽減 |
| 33万円 | 7.75割軽減 |
| 33万円 + (28万5千円 × 世帯の被保険者数) | 5割軽減 |
| 33万円 + (52万円 × 世帯の被保険者数) | 2割軽減 |



【令和3年度】

| 所得が次の金額以下の世帯 | 軽減割合 |
|---|------|
| 43万円 + 10万円 × (給与所得者等の数 - 1) | 7割軽減 |
| 43万円 + (28万5千円 × 世帯の被保険者数) + 10万円 × (給与所得者等の数 - 1) | 5割軽減 |
| 43万円 + (52万円 × 世帯の被保険者数) + 10万円 × (給与所得者等の数 - 1) | 2割軽減 |

●保険料の計算方法（令和3年度）

保険料は、被保険者全員が等しく負担する「均等割額」と、前年の所得に応じて負担する「所得割額」の合計で計算します。年の途中で資格を取得したときや喪失したときは、月割で計算した保険料になります。

| | | | | |
|--|---|---|---|--|
| 保険料 (100円未満切捨) 限度額64万円 | = | 均等割額 (1人当たりの保険料) 5万2,048円 | + | 所得割額 (令和2年の所得 - 最大43万円) × 10.98% |
|--|---|---|---|--|

●年間保険料額の例

【単身世帯の場合】

| 年金収入 | 均等割軽減 | 保険料額 | 前年度比 |
|---------|-------|----------|---------|
| 80万円 | 7割 | 15,600円 | 増減なし |
| 168万円 | 7割 | 32,000円 | 3,900円増 |
| 196.5万円 | 5割 | 73,700円 | 増減なし |
| 220万円 | 2割 | 115,200円 | 増減なし |

【夫婦2人世帯（ともに被保険者）で妻の年金収入が80万円以下の場合】

| 夫の年金収入 | 区分 | 均等割軽減 | 保険料額 | 前年度比 |
|--------|----|-------|----------|---------|
| 80万円 | 夫 | 7割 | 15,600円 | 増減なし |
| | 妻 | | 15,600円 | |
| 168万円 | 夫 | 7割 | 32,000円 | 3,900円増 |
| | 妻 | | 15,600円 | 3,900円増 |
| 225万円 | 夫 | 5割 | 105,000円 | 増減なし |
| | 妻 | | 26,000円 | |
| 272万円 | 夫 | 2割 | 172,300円 | 増減なし |
| | 妻 | | 41,600円 | |

令和3年度の保険料額は7月に個別にお知らせします

問合せ／北海道後期高齢者医療広域連合 ☎ 011-290-5601

役場町民サービス課保険年金係 ☎ 2-2171 内線 (523・524)